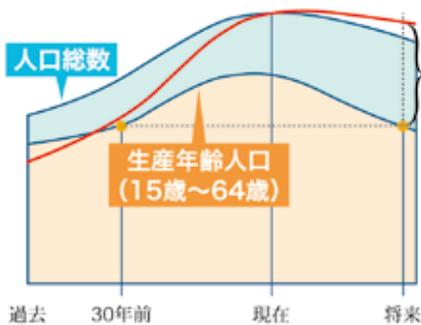




座談会形式で多くの意見が出されました

3年目を迎えた 意見交換会



公共施設総面積

少ない人口で増えてしまった公共施設を維持しなくてはなりません。

これまで人口増加に合わせて様々な公共施設が建設されてきました。今後少子高齢化が進み生産年齢人口が減ってきますが、今のまま公共施設面積が変わらないとしたら、人口減に伴う厳しい財政状況の中で施設を維持できるでしょうか。本当に必要な施設の維持・管理のために施設の現状を把握し、施設統合を含めた将来計画を考えるときの基礎となる「公共施設白書」の作成が必要です。

増える老朽施設をどうするべきか 公共施設白書の必要性

市民の皆様からのご意見

小都市議会は、8月7、8、9日、市内5中学校区の校区公民館などで市民との意見交換会を開催しました。

また、今回新たな試みとして座談会形式を取り入れました。これは参加者全員に発言していただくことからの考えから

緒にこれからの小郡を考えて、この趣旨で開催しました。

また、若い人や女性など、より多くの市民に参加していただける魅力ある意見交換会になるよう努めてまいります。

多くの貴重な意見を聞くことができ、今後の議会活動に活かしていきます。

市役所 庁舎について

- 現在の建物を売却して別の場所に利用しやすい建物の建設はできないですか。
- 一時的な耐震補強より初期投資はかかりますが、耐用年数の観点からも新築が必要ではないでしょうか。

市体育館について

- 耐震補強してしばらく利用できるなら、すぐに新設する必要はないのでは。
- 冷房が整い、機能的な施設となれば体育館の利用者は現在より増えそうです。
- 市長が選挙公約として建て替えをあげた以上、議会とも協議すべきです。

全体として

- 市税増収のためにも人口を増やす施策が必要ではないですか。
- 施設数や耐用年数が分からないので中・長期計画を含めた白書が出来たら面白い。

委員会としても市民の皆様からのご意見をふまえて、積極的にとりくんでいきます。

市民みんな健康づくり

健康体操とは

市では地域での健康づくり活動を進めていくために健康づくり支援事業を行っています。

各地域で推薦された方が健康づくりを進める「健康運動リーダー」となり、身近な公民館で健康運動教室を運営されています。その為に作られたのが小郡市健康運動リーダーとして登録され、18行政区で活動中です。(西島区、吹上区、松崎区、三国校区、御原校区、味坂校区の中の15行政区)



らい効果があると考えますか？

教室に通う皆さんから、体の健康はもちろん、心や頭の健康にも効果がありますとの意見をいただきました。長く継続できるように計画的な推進を要望していきます。

健康体操教室も、いきいきサロンも高齢者が集まりやすい環境を作っていくことが大切

イオン出店にどう対応するか

11月8日、大保地区に大型ショッピングセンター「イオン」が開店します。このことについて市民との意見交換を行いました。

市民の皆様からのご意見

冠水対策は大丈夫ですか？

もともとイオン建設予定地は遊水農地です。建設で遊水機能がなくなれば、対岸を含め周辺に洪水被害の危険性が高まりますがどうするのですか。

議会でもこの問題について

だと思いますが、どうですか？

健康体操教室の対象者を高齢者だけでなく地域全体で取り組める内容にしていくとともに、地域によっては小単位での活動ができるよう、行政に働きかけていきます。



小郡市健康体操 DVD

は論議し対策を求めてきました。イオンは、30年に1度の豪雨にも耐えるよう、地下貯水タンク、遊水池を設置し、また、駐車場もブロックごとに順次貯水する構造にして対応するとしています。



道路を安全にしてください。特に、大保駅からイオンまでの道は狭く、車が多くなれば危険で不安です。

市は、当面、離合できるよう途中3か所の道路幅を広げることとしています。また、今後、高原川沿いに道路を建設し、あわせて駅前広場の整備を行う計画です。

買物バスを運行してほしい。高齢者がバスで行けるようにしてもらいたいです。

現在、西鉄駅からのシャトルバスの運行やコミュニティバスのルート組み入れなどの検討がなされています。

店がなくなると困ります。車で買い物に行けない高齢者などは、近くにある地域の店がつぶれたら困ります。

市では、商工会やJAなどと「大型店対策協議会」をたちあげ、今後の対策を検討していくこととしており、当面小郡・立石・三国地区で朝市の開催を計画しています。

健康体操教室をやることで、高齢者の医療費抑制にどのく

保健師とトレーナーの数が限られているために、どうしても一時期に集中的にやらざるを得ない状況です。今後効果的に対応するように要請してまいります。

市民の皆様からのご意見

大原・東野校区ともリーダー養成講座が開かれています。もっと広範囲にスピード感を持ってやれないものでしょうか？

平成25年度市の健康づくり支援事業計画

健康運動リーダー養成講座を修了し、自主健康運動教室が始まっている校区および平成25年度に養成講座を修了する校区においても、順次、行政区単位での教室立ち上げ支援を行ってまいります。